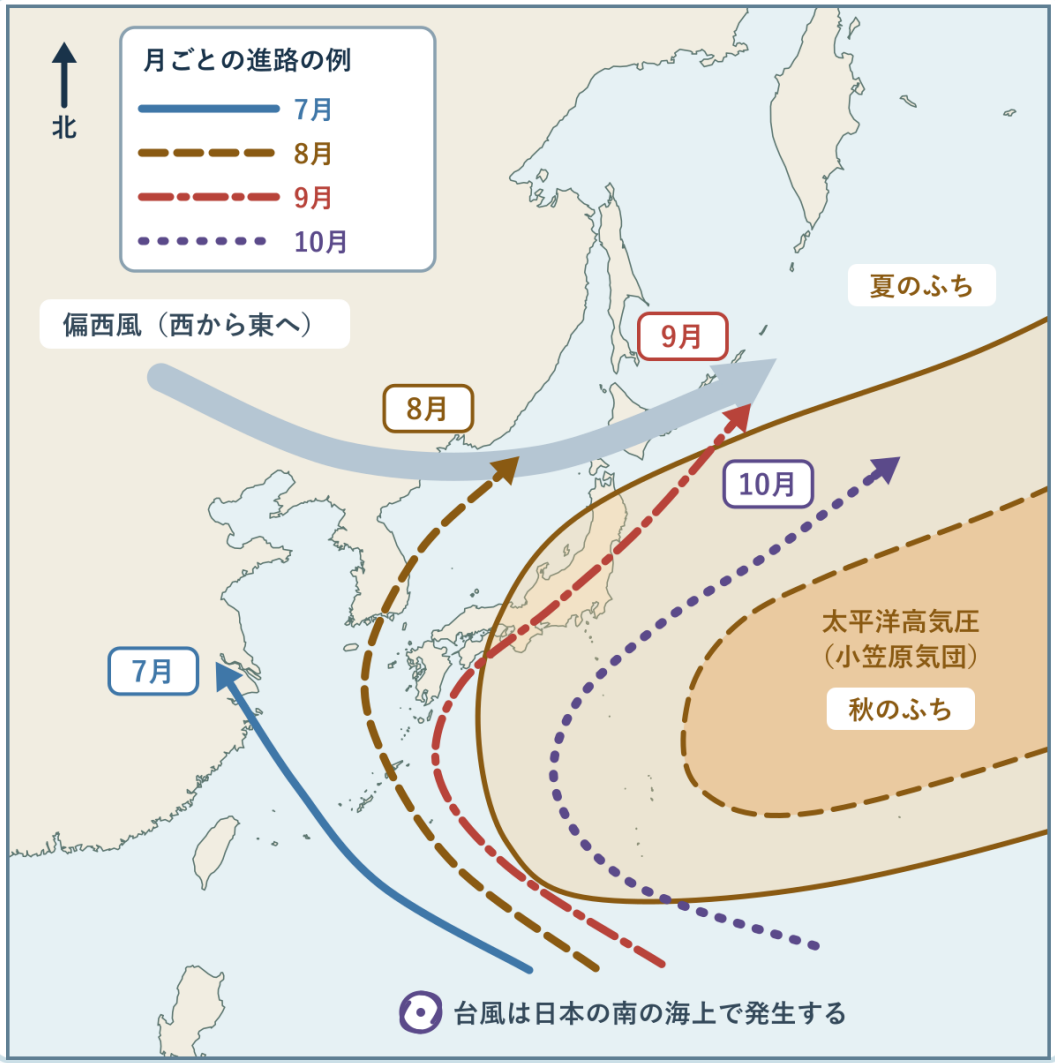
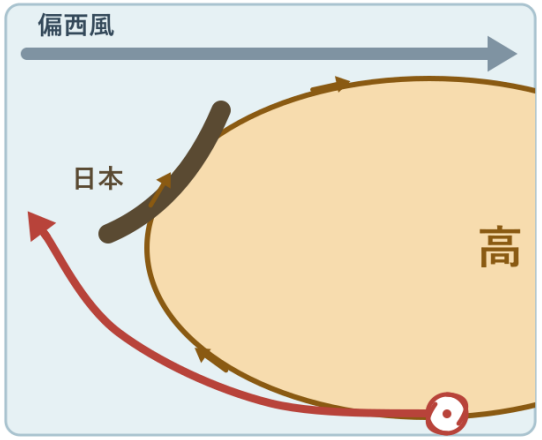
台風の進路が季節で変わるわけ

台風は7月・8月・9月・10月で、なぜ進む道すじが違うのだろう

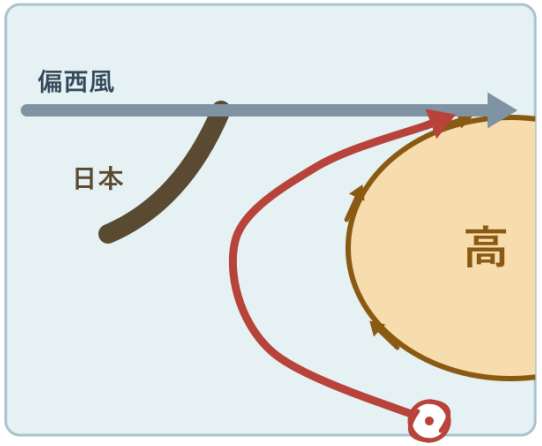


夏（7〜8月ごろ）



高気圧が大きく
張り出す。
台風はそのふちに
沿って西へ進み、
大陸や日本の西へ
向かう。偏西風は
日本より北にある。

秋（9〜10月ごろ）



高気圧がしりぞき、
台風は日本に
近づきやすい。
南へ下がってきた
偏西風に流されて、
北東へ向きを変える。

※ 進路と高気圧の範囲は模式で、実際の台風はこの通りに進むとは限らない。「高」は高気圧。